

1 1月14日大阪府北部地震及び台風21号等の災害対応に対する意見交換会 議事要旨

開催日	平成30年11月14日(水)	開催時刻	午後7時～午後8時45分
開催場所	千里丘市民センター2階 多目的ホール		
議題	1 災害状況及び対応報告 2 意見交換 (1) 情報伝達について (2) 避難所開設について (3) その他		
出席団体	山田・千里丘ブロック等の自主防災組織(3地区)、連合自治会(3地区)、福祉委員会(4地区) 合計12人		
出席した所属室課	危機管理室、広報課、市民自治推進室、福祉総務課、教育総務室、教育政策室、まなびの支援課 合計15人		
<p>【議事内容】</p> <p>1 吹田市から大阪府北部地震及び台風21号等の災害状況や、そのときの情報発信方法、避難所開設の状況等を報告しました。</p> <p>2 意見交換を行いました。主な意見は、次のとおりです。</p> <p>(1) 情報伝達について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報車や掲示板は初めての取り組みで評価できる。エリアメールは、他市の情報は入ったが、吹田市からはほとんどなかった。SNSは若い人が中心なので、特に情報が必要な高齢者に対する情報発信方法を検討してほしい。 ・ 電気が遮断された場合などの最悪の事態を想定した情報伝達方法を検討すべき。 ・ 高齢者はホームページ(以下「HP」といいます)やSNS、緊急速報メールを見ることができない。アナログな情報伝達手段がほしい。掲示板に情報を掲示している間にHPが更新されるので情報更新が間に合わない。 ・ 掲示板の文字が小さく、見づらかった。 <p>(広報課)</p> <p>○地震のときは、迅速な情報発信という観点から、HPとSNSを活用した。台風のときには、高齢者への対応として、公共施設の掲示板を活用したが、情報の更新が遅いところは反省点である。HPは見やすく、シンプルにまとめるなど、少しずつ改善した。SNSは有効と考えているが課題もある。今後手段を検討したいが、地域の力を借りながら情報発信を行いたい。</p> <p>(危機管理室)</p> <p>○エリアメールについて、他市は山間部が多く、土砂災害警戒区域も多いため避難情報を発信している。吹田市は地震発生時の1回のみ。その後、避難勧告を発令したが、地域が限定されていたため、活用せず、個別連絡をした。全市民に発信すると混乱する。川が洪水で氾濫するなど、避難が広範囲にわたる場合は活用する。緊急時に行動してもらいたいので、本当に避難が必要なときに情報発信したい。</p> <p>(2) 避難所開設について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所に非常用電源設備がないみたいだが、夏場はエアコンも必要となる。 ・ 各地域で避難所を運営するべきだと思っているが、マニュアルは配備されているのか。施設長も把握しているのか。実態を把握してほしい。 <p>(市民自治推進室)</p>			

○施設利用について、平常時の使いやすさはもちろん、災害時の避難所としての使いやすさも検討していきたい。

(教育総務室)

○全小中学校で避難所運営マニュアルを整備している。今回の地震を受けて、全校に更新を依頼し、集約しているところ。避難所運営は地域の協力が不可欠なので、地域と情報を共有しながら、取り組んでいただくようお願いしている。今回出た意見については、校長指導連絡会等で報告する予定。

○避難所として、大規模な人数を収容するには体育館が適しているが、避難者が少数の場合は、エアコンが使える教室を開放するなど学校長の判断のもと、柔軟に対応をしている。

(まなびの支援課)

○公民館に自家発電機はない。公民館は老朽化しており、改修の際は、電源の更新も含め、災害に強い施設にしていきたい。

○公民館の備蓄について、危機管理室を通して毛布や食糧30食分を備蓄している。施設が小規模であるため、いまでも倉庫がいっぱいで、新たに簡易トイレ等の備蓄は難しい。

(危機管理室)

○緊急防災要員のうち、校区防災要員は小学校へ参集し、情報を収集する。地域防災要員は、山田・千里丘地域の場合、東消防署へ行き、管轄校区の情報を取りまとめて、市の災害対策本部と情報交換する。毎年、地域との訓練前に、自治会長と小学校長に担当職員の一覧を渡している。

○発電機について、ポータブルタイプを来年度に向けて予算要求しようとしている。

○現在体育館が使用できない小学校でも、小学校自体を避難所と指定しているので、教室なども活用していく。

○備蓄品について、携帯用トイレを今年度初めて購入した。コンパクトで場所をとらないので、置き場所は検討したい。

(3) その他

・市職員の顔が見えなかったので、市が何をしているのか動きが分からなかった。

・ブルーシートの配布を行っていたが、千里丘は遠く、高齢者は市役所まで取りに行くことが難しい。

・避難訓練をこれまでしてきたが、意味がなかった。もっと現実的な訓練を計画したいが、防災にかかる経費として市の援助がほしい。

・各地区の防災委員長などは、何か資格をとらせて専門的な知識を持ってほしい。

(福祉総務課)

○災害時要援護者名簿を作成している。本人に同意確認し、同意確認を得られた方の名簿を各地区の自主防災組織へ渡し、訓練や災害時の安否確認に使用していただく。各地区と市で協定を結び、名簿を提供していく。

(危機管理室)

○自主防災組織に対しては資機材の給付のほかに、防犯担当で補助金を出している。継続して活動していただくための支援は必要と認識している。